

未来をひらく 思いをつたえる

Hirakû

5

4冠を獲得しました!

全国のパパ・ママに選ばれて No.1

当園は、国内最大級のモニター調査機関
ゼネラルリサーチ株式会社によるアンケート調査の
「プリスクール」項目、4部門において No.1 を獲得しました。
「日本の心と、英語の力。」を軸に 20 年来のノウハウをさらに磨き
新時代を生きぬく国際人の育成に取り組んでまいります。



アンケートモニター提供元: ゼネラルリサーチ
調査期間: 2019年2月22日~25日 調査方法: インターネット調査
調査概要: プリス쿨(英語保育園)10社を対象にしたサイト比較イメージ調査
調査対象: 全国20代~50代の親1048名

アイデアをお待ちしています!

「Hirakû」では、英語・幼児教育の最新ニュースやトピックなど皆さまに役立つ情報をお届けいたします。

・最近気になっていること ・取り上げてほしい話題 ・新しいコンテンツ etc...

皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしています!

「Hirakû」編集部 TEL: 06-6135-0150 Mail: hiraku@kinderkids.ed.jp

Hirakû

2019年9月発行 Vol.5

次回11月末
発行予定

株式会社キンダーキッズ

TEL: 06-6135-0150

〒530-0033 大阪市北区池田町3-1

ぶらら天満ビル2F

www.kinderkids.com



幼少期から育みたい、自己表現力

世界をまたにかけるキッズたち 卒園生に聞く

日本の心と、英語の力。Kinder Kids inc.



SELF EXPRESSION Part.1

コミュニケーション能力につながる

自己表現力を育てる意味とは

国際社会において、日本人は表情に乏しく、自己表現力が不得意である印象を持たれています。

その原因として、大きく二つの傾向が影響していると言えます。一つは、相手を尊重する国民性。もう一つは、これまでの日本の教育です。知能の習得に偏りがちであった教育により、社会性や人間性の育成についてはこの次にされてきた気風がありました。

しかし近年、グローバル化が進む日本において、そのような教育のあり方が見直されてきました。

表現力が乏しいと、自らの思いや考えを相手に伝えることが困難です。また大人になってから、人間関係で孤独を感じたり、組織の中でうまくコミュニケーションがとれず苦勞したりと危惧される面があります。

学習指導要領にも「表現力」の育成について掲載され、重要視されるようになってきました。

自分の思いや考えを相手に伝える

Feature Story

豊かに表現できる子どもを育てる

キンダーキッズでは、ナーサリークラスから日課としてサークルタイムを行い、自分の気持ちを表現する意味や上手な伝え方を知り、周りのお友だちとあらゆる感情を共有する大切さを学んでいきます。

幼い子どもは、「そのおもちゃをかしてほしい」といった欲求や、自分が使っていたおもちゃをとられた場合の「ずるい」「返してほしい」といった感情を言葉に表せません。そのため、泣いたり、お友だちを押ししたり、つねったり、噛んだりして気持ちを表現します。そんな時、私たちは、相手に伝わり易い問いかけや、状況に合わせた返答の仕方を教えます。

カリキュラムでの本読みや劇のアクティビティでは、「Sorry」「Thank you」「Please」という言葉がさまざまなシーンで登場します。物語のシチュエーションから、感情と行動のつながりを学ぶことができ、適時適切な表現の術を増やすことができます。

プリクラスからキンダークラスに進級すると、テーマワークブックを使い、考えや気持ちなど意見交換し合うテーマディスカッションの時間が加わります。さらに「Show and Tell」の時間では、自身の経験や興味に関する話をお友だちの前で発表し、個々の価値観をみんなで共有し合います。これは、人前で発表する自信を養う訓練にもなります。

Children who can clearly express themselves

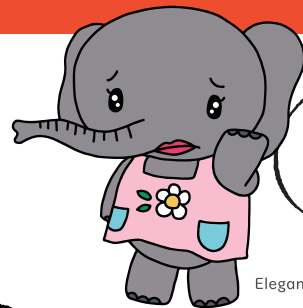


子どもとともにさまざまなことを体験し感じたことを私たち大人が表現豊かに代弁してあげることで、子どもの表現力の育成を促すことができます。自分の考え方や意見をしっかりと伝える力や豊かな表現力は、きっと生涯の宝物になるでしょう。



この気持ちは悔しいって
ことなのか…

Kissing Kiwi



Elegant Elephant

悔しかったね
自分のクレヨン
とられたら悲しいね



Running Rabbit

Kiwi が
悲しんでる…
こういうとき
なんて
言ったら
いいのかな



Interview

Tama Plaza

School

たまプラーザ校マネージャー 岩下 愛香



2017年4月に開校した
国内キンダーキッズで
一番新しいスクール

たまプラーザ校は、駅からのアクセスが良く、周辺には商業施設や大きな公園もあり、子育てファミリーにやさしい環境に立地しています。他スクールで経験を積んできたベテランの先生たちにフレッシュな顔ぶれが加わり、スタッフ丸となって園づくりに励んでいます。クラスの隔たりなく、大人みんなが子ども一人ひとりに丁寧に向き合うことで、子どもと先生やスタッフの距離もどんどん近づきました。園内にぬくもりが生まれ、今ではにぎやかな声が響き、活気にあふれています。子ども同士においても、クラスの垣根を越え、異学年の交流が盛んです。一緒にアクティビティを行う中、大きい子は小さい子をかわいがり、小さい子はお兄さんやお姉さんの背中をみて頑張っている姿が光景が園生活の中でたくさん見られます。



日々の仕事を通して、コミュニケーションの大切さを一番に感じています。心がけの一つとして、子どもの小さな進歩からよく頑張っている様子まで、しっかりと目を配り、保護者さまにお子さまの成長や状況をお伝えできるよう努めています。アットホームな環境を維持しつつ、子どもの成長を皆さまと一緒に見守り、喜び合いながら、子育てのサポートに取り組んでいます。

HP



Facebook



神奈川県横浜市青葉区美しが丘
2-14-4 KMビル3階

子どもたちと
いっしょに
私たちスクールも
成長をしている
ところです!

Staff Spotlight



Interview

Nagoya

School

名古屋校マネージャー 尾嶋 純奈



中部地区で唯一の当園
乳幼児～小中高生の
学習をサポートする



名古屋校は、同市屈指の教育施設が多く集まる地域にあります。園近くに、大きな池や桜並木でも有名な公園があり自然も豊かです。スクール内には大きな園庭に、広い室内ジムがあるため、子どもたちは、雨の日でも元気いっぱい体を動かしています。スタッフは、そんな子どもたちにも負けなくらいバイタリティにあふれています。子ども一人ひとりと真摯に向き合うスタッフの姿にグッとくることもしばしばです。子どもたちと信頼関係を育むことを大切に考え、子どもが楽しく元気に過ごせるよう、それぞれの成長に寄り添って保育・教育をしています。アクティビティーについても、子どもたちの日々の成長を知るスタッフだからこそ生まれるアイデアが詰まっています。

保護者さまとの会話で、家族で出かけた海外旅行先でお子さまが全て通訳してくれたことに感動されたことや、キンダークラスで学習した本を小学校の英語の授業でも読むことがあり、懐かしく思いながら自信を持って取り組んでいるという嬉しい知らせを聞き、やりがいを感じています。ふだんのサークルタイムやカリキュラムの成果が、キンダーキッズの外で「実践」という形で発揮され、難なく英語を使っている子どもたちの姿はスタッフにとっても誇らしいことです。将来にわたって「キンダーキッズに通って良かった」と心から思ってもらえるよう、今後もしっかりとサポートさせていただきます。

HP



Facebook



愛知県名古屋市長和区広路町
隼人5-1

朝から夕方まで
毎日
にぎやかです!

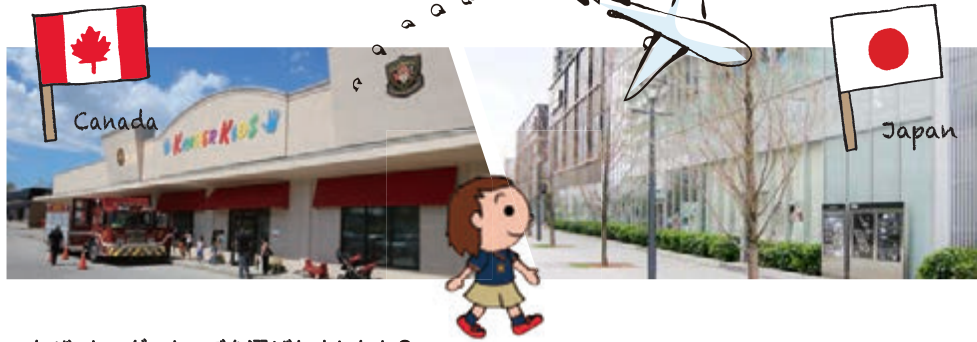


世界をまたにかける キッズたち

1



日本への里帰りで転園システムを利用した R.K さん(当時 K3 クラス)。子連れでしばらく海外滞在となると、お母さまはもちろんお子さまにとっても大仕事。しかし、いつもと変わらない制服を着て、同じテキストを使い、横浜校のお友だちと仲良く園生活を送れたようです。転園システムを利用して初めての感想をお母さまに伺いました。



—なぜ、キンダーキッズを選ばれましたか？

周りの日本人の知り合いからの評判がよかったこと、日本への転園ができること、バイリンガルスタッフがいること、実際に見学してみても雰囲気がいいなど思ったからです。年に一度の帰省の際、転園システムを利用してみたいと考えていました。

—出発前、不安に思っていたことはありますか？

実際に現地でご過ごされて、その不安は解消されましたか？

娘は恥ずかしがり屋などところがあるので、クラスに馴染めるか不安でしたが実際にはクラスの先生、子供たちはみんな明るくてフレンドリーで不安はすぐ消えました。

—キンダーキッズでは滞在先の手配を行っていませんが、

今回の滞在先はどのように手配されましたか？

幸い実家から通える距離でしたので、実家に滞在しておりました。

—お子さまの初登園日の様子を教えてください。スクールに行く前は緊張していましたか？

それとも楽しみにしているようでしたか？

口には出しませんが少し緊張している感じがしました。



—転園先で参加したイベントはありましたか？

オープンデーに参加しました。クラスで楽しそうにしている様子が見られて良かったです。

—休日はどうのように過ごされましたか？

観光地など、とくに気に入った場所、おすすめがあれば教えてください。

気に入った場所はこどもの国です。ディズニーランドもやはり楽しかったです。トレッサ横浜などのショッピングモールも好きで、とくに子どもが乗る車のベビーカートに乗るのが好きでした。カナダではベビーカートはあまりなく、あっても乗るのに 5 ドル支払わなくてはならないのでなかなか乗れません。

—日本への転園をほかの生徒さんにも勧めたいと思いますか？ 行くことを検討されている方に

これは準備していた方がよいと思う物など事前に必要な準備があればアドバイスをお願いします。

はい、ぜひおすすめしたいです。特別な準備は要らないと思います。ただ、日本とカナダではクラスを区切る年齢や時期が違うので、それだけ多少戸惑いがあるかもしれません。違う学年になる場合は、異なる点を予め調べておくと思えます。娘は、転園先でクラスが一つ上がりました。そのため、カナダ校ではライティング学習がアルファベットか単語の文字をなぞる程度だったのに対し、日本では宿題で作文があり、お昼寝の時間がないといった点が違いとして印象に残っています。



High School

卒園生に聞く

インタービュー

キンダーキッズ豊中学校 8 期生の R.S さん。
R さんは卒園後、公立の小学校、中学校を経て、関西学院千里国際高等部に進学。高2からアメリカのサウスカロライナ州にある高校に1年間留学し、今年9月から復学しています。中学校で英検準1級を取得し、ネイティブ並みに流暢な英語を話す R さん。
留学先の高校から、成績優秀者で且つ課外やボランティア活動、リーダーシップ力がノミネート条件となる「National Honor Society (全米優等生協会)」に選出されました。
卒園後、小学生の時に Grad Club のキャンプやオーストラリア研修に2回参加され、中学時には、キンダーキッズの母校へ職業体験に来てくれました。
高校生になった現在、今年はキャンプのヘルパーとして、サマースクールのボランティア活動に携わってくれました。
そんな R さんにキンダーキッズでの思い出や現在の様子などインタビューしました。



Kinder



Toddler



Nursery

- ーキンダーでの一番印象に残っている思い出は？
クリスマスコンサートで母の手作り衣装を着て、みんなで劇をしたことです。
- ー初めての海外旅行はいつ？
クラスでよく聞いた“Wiggles”のコンサートを観るために K2 クラスのお友だち3家族でオーストラリアへ旅行したことです。
- ーアメリカ留学の感想を聞かせてください
アメリカはとにかく文化や宗教が違う様々な人種が集まる国なので、個々の考えや意見を尊重してお互いを理解することの重要性を感じました。
- ー海外の映画や TV はどの言語で観ますか？
断然、英語です。日本語訳だとニュアンスや表現が変わってしまうからです。
- ー将来、どんな仕事をしたいですか？
具体的な職種はまだ決めていませんが人とかかわりを大切にできる仕事をしたいと思います。

R さんは、全国の中高生が集まる IT キャンプに参加するなど英語以外のことにも高い関心を持たれています。今後の活躍がとても楽しみです！

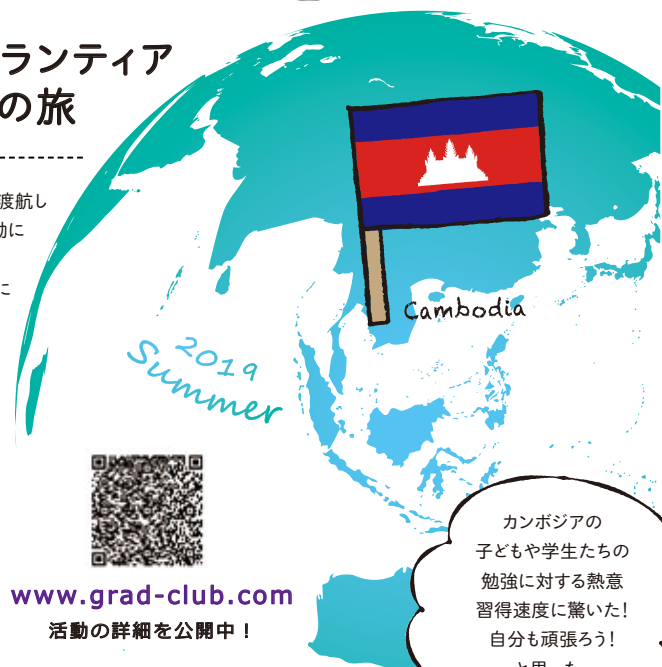
Interview

Report

中学生の海外ボランティアカンボジアの旅

Report

グラッドクラブの学生 3 名がカンボジアへ渡航し約 1 週間の滞滞においてボランティア活動に取り組みました。
キンダーキッズ開催イベントの収益金などによって支援しているチャリティスクール「チャンスレー小学校」(ポーンサット州)を訪問して子どもたちといっしょに遊び、カンボジアの首都プノンペン市内にある日本語学校では日本語の先生にも挑戦しました。



環境が整っていないところでもカンボジアで暮らす人たちはこんなに前向きで一生懸命で凄い!と思った。

カンボジアの子どもや学生たちの勉強に対する熱意習得速度に驚いた!自分も頑張ろう!と思った。



あまり社交的な方ではなかったけれど、カンボジアの子たちがフレンドリーに迎えてくれて自分も積極的になれた!

世界的な視野と適応力を持つ国際人への第一歩となる経験。仲間とともにテーマをもって海外へ飛び立つことは、自らの価値観を見つめ直す機会となり知見や関心も一気に広がります。今後も、英語だけでなく、新たな出会いや体験をみなさまに届け、安心してプログラムに没頭してもらえるよう、私たちスタッフは次なる課題に向かって着々と進行中です。



グラッドクラブ課 河田 望来

英検 Online Lesson

スタート!

申込方法

Kinder の

「インフォメーション」で概要をご確認のうえ、申込フォームから必要事項をお送りください。

*一度のお申込みで
最大6レッスンまで受講可



英検対策クラスでオンラインレッスン新設!

教室で受講できないお子さまのために

K3クラスのおさま限定で、5級・4級クラスがオンラインで受講できるようになりました。

このオンラインレッスンは、せっかく英検にチャレンジしてみようと思ったにも関わらず、通っているスクールで英検クラスの開講条件が満たされず受講できないお子さまのために、少しでもお手伝いできたらと考えられスタートしました。

日本語でのマンツーマンで、英検とはどのようなテストなのかを知り、リーディングの各問題形式を理解し、学習の仕方を習得します。また、学習内容の定着を図るために宿題もあります。

本来は、同じ目的を持ったお友だちといっしょに勉強に取り組むと、モチベーションが高まるので、この年齢のおさまはスクールで受講する方が良いのですが、どうしても参加できないおさまは、ぜひこのオンラインレッスンをご利用ください。

また、3級以上の一次試験を合格した在籍生を対象に、二次面接対策のレッスンも行っています。

4月にK3クラスに進級し、ちょうどスポーツフェスティバル開催の頃(6月)、第1回の英検本試験が毎年実施されます。この時期、K3クラスのおさまは英検クラスに参加できないこともあり受験者が大変少ないのですが、今年は3級2名、4級15名が各キンダー準会場で受験に挑戦しました。

見事、3級は2名とも合格、4級は13名が合格し、とても大変がんばったと先生たちも喜んでいました。

この成果を1つのステップに、これからもがんばってほしいと思います。

受講の流れ

1 マンツーマンレッスン

約22分

日本人講師による日本語でのレッスンです。級・大問別で問題形式を知り、解き方を学習します。

3 宿題提出

レッスン当日の15時までに宿題を提出します。



2 フィードバック

約3分

保護者の方にもついていただき、行ったレッスンポイントと宿題を確認します。

4 アドバイス

メールで宿題の添削内容とアドバイスを受け取り自身で学習します。

いっしょに英検合格をめざそう!



アンケートモニター提供元：ゼネラルリサーチ
調査期間：2019年2月22日～25日
調査方法：インターネット調査
調査概要：プリスクール(英語保育園)10社を対象にしたサイト比較イメージ調査
調査対象：全国20代～50代の親1048名



英検課 東智枝